

## <シンポジウム(4)-7-1>不随意運動の病態生理

### 不随意運動オーバービュー

宇川 義一<sup>1)</sup>

**要旨：**振戦、ミオクローヌス、ジストニアに関する講演の前に、不随意運動一般について簡単にまとめた。

不随意運動とは、自分の意図とは関係なくおきる病的な運動ということになるだろう。不随意運動の分類は、動きの時間的規則性（リズムの規則性）と動きのパターンの規則性（stereotype）に基づきおこなわれている。不随意運動の記録は“百聞は一見にしかず”というように、記録に残すにはビデオ記録が最適である。

（臨床神経 2013;53:1273-1274）

**Key words：**不随意運動，リズム，ステレオタイプ，パターン

#### はじめに

本シンポジウムでは、不随意運動の中でもその病態生理がある程度解明されている・またはヒトでも生理学的検討がしやすく発生機序がある程度予測されている振戦、ミオクローヌス、ジストニアに関して、それぞれの専門の先生に紹介いただく。それらの講演に先立ち、不随意運動一般について、簡単にまとめるのがオーバービューである。

#### 不随意運動とは何か

この質問にすっきり答える事は難しい。自分の意図とは関係なくおきる病的な運動ということになるだろう。あえて病的という単語をいれたのは、正常な反射・startle response・貧乏揺すりなども意図しない運動であるが、不随意運動にはふくめないからである。

#### 不随意運動の分類は

不随意運動の分類は、患者の動きを他人にどのように説明するかを考えると自ずと解るであろう。運動そのものの特徴から動きを分類し、その出現部位、運動がおきる条件などをつけて、不随意運動を記述する。更にその原因が判明すれば、病名をつける事になる。運動そのものの分類は、動きの時間的規則性（リズムの規則性）と動きのパターンの規則性

（stereotype）に基づきおこなわれている。時間的にもパターンもかなり規則性がある運動が振戦であり、どちらの要素ももっとも不規則なものがミオクローヌスである。出現部位に関しては、全身性からごく一部の局所性の運動までである。いろいろな部位で運動が出るときは、それらの運動に同期性があるか、あるばあいには半側で同期しているのか・局所だけか、伸筋と屈筋が相反しているか同期しているかなどに関しても記述する。誘因については、静止時・姿勢時・運動時などの条件や、精神的ストレスで増強するかなど様々な条件を記載する。特殊なジストニアでは、書字・ピアノ演奏・ゴルフのパターなど、ごく限られた条件の時だけ不随意運動が出現する事がある。診察に当たっては、実際に患者のいう条件を診察室で再現する必要がある。

#### 不随意運動の記録は

“百聞は一見にしかず”というように、記録に残すにはビデオ記録が最適である。バリズムのように翌日は消失してしまう動きもあるため、患者を診た時にすぐに記録することをすすめる。また、筋肉の動きの詳細な時間関係を記録するには、表面筋電図が最適である。これら生理学的所見の有用性に関しては、他の講演者の講義を参考にしていきたい。

※本論文に関連し、開示すべきCOI状態にある企業、組織、団体はいずれもありません。

<sup>1)</sup> 福島県立医科大学神経内科学講座〔〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地〕  
（受付日：2013年6月1日）

**Abstract****Overview of involuntary movements**Yoshikazu Ugawa, M.D., Ph.D.<sup>1)</sup><sup>1)</sup>Department of Neurology, Fukushima Medical University

This issue is a kind introduction for the next three speakers who will give lectures about three considerably pathophysiology-known involuntary movements: tremor, myoclonus and dystonia.

What's involuntary movement? This question relies on what is a voluntary movement. Some movements may include voluntary components and involuntary components. It usually excludes normal reflex movements, but they are sometimes included in the involuntary when much enhanced and cause some problems for the patients.

Classification of involuntary movements. Clinical classification is based on clinical features, and it is, therefore, the same as how we explain some unknown movements to others. The rhythmicity, rapidness, pattern, stereotypy, part of the body involved, trigger factors are main features we use.

How to record them. Video recording is the best method to record and show them to others. EEG, evoked potentials, polygraphs and some other physiological studies may help you to analyze their pathophysiology.

(Clin Neurol 2013;53:1273-1274)

**Key words:** involuntary movements, rhythm, stereotypy, pattern

---